

# やまのめ

一関市立山目小学校 校報 No.18  
2023. 10. 6 文責:校長 菊池



たどたどしくても

## 「手持ちの力」でやり切る大切さ

9/29(金) 児童会祭り

「ペン積み重ね」「体内時計で〇〇秒当て」「ピンポン玉リフティング」「風船バレー」「お絵かきしりとり」「ドリブルリレー」…等々

児童会祭りでは、子どもたち手づくりの遊びを、縦割り班の異年齢グループで楽しみました。

ゲーム機で遊ぶような刺激的な展開はないのですが自分の体を使って仲間と遊ぶ楽しさに、どの子どもも目を輝かせていました。



【ペン積み重ね 4本クリア!】



【すごい上手! その調子!】

児童会祭りでたくさん見かけたのは、高学年児童が下級生のめんどろをよく見ている様子でした。励ましたりなだめたり、一緒に喜んだりくやしげたり、こんな姿を下級生も目にして、学んでいくのだと思います。

自分の「手持ちの力」で何かをやることで誰かの助けになったり、相手が喜んだりすると、とてもうれしく感じます。特に子どもにとって、「自分にもできることがある」「自分も役に立てる」「自分も認められる」という経験は、大きな自信につながります。

たどたどしくても、ちょっと失敗しても、子どもたちが今もつ「手持ちの力」を発揮させ、認めていく体験を大切にしたいと感じた児童会祭りでした。



【次はどのゲームに挑戦する?】

## ◆ 祝 150周年 ◆ 市街地に 広い校庭の秘密

この場所 もとは一関二高

本校の校庭面積は 14,247 m<sup>2</sup>。公式サッカーコートちょうど2面程の広さがあります。

(FIFA 推奨サイズ 1面 105m×68m=7,140 m<sup>2</sup>)

市内の小学校では、千厩小(18,353 m<sup>2</sup>)、興田小(17,955 m<sup>2</sup>)、滝沢小(15,613 m<sup>2</sup>)に次ぐ4番目の広さです。(「いちのせきの教育」より 令和5年5月1日現在)

ご存じの方も多いと思いますが、現在の校地には昭和2年から40年まで、一関二高がありました。昭和40年3月の火災で二高の校舎は焼失します。二高が赤荻に移転した後、昭和49年からの約50年間、山目小学校は今の場所で教育活動を営んできました。

正確な記録は見つけれられませんでした。高等学校の広い校地を引き継いだため、市街地にも関わらず、本校の校庭はとても広いということができそうです。



【火災の残骸? 山目小建築前の二高跡地】